

(3)富山県内の長方形箱形炉の型式分類について

県内における古代の長方形箱形炉はこれまで26基の調査報告例があり、滑川市の安田遺跡を除く25基がすべて射水丘陵に集中している（第42図 表10）。ここでは県内26例との県外2例合せて28例について長方形箱形炉の変遷を検討する。

製鉄炉の型式分類については全国的な視点から土佐雅彦氏〔土佐1981・1984〕や穴澤義功氏〔穴澤1984・1987〕が近世以前の精錬炉について分類を行い、北陸では関清氏が穴澤氏の分類をもとに県内例の位置づけを行っている〔関1984〕。穴澤分類に基づけば県内の長方形箱形炉はすべて木炭層による地下構造を持つI型d類に属する。上記の安田遺跡製鉄炉のみ地下構造に木炭の代わりに川原石が敷き詰められるがI型d類の範疇として捉える。

渡邊朋和氏は送風施設である鞴座の有無と斜面に対する炉の構築方向から分類を行い、「斜面に対して直交して構築され、炉床に厚い木炭の地下構造を持ち、炉の長軸方向一方から排滓するものをIA類とし、斜面に対して平行に構築されるものをIB類」とし、そのうちファゴ座の明確なものを1、明らかでないものを2と細分を行った〔新津市教委1998〕。富山県内ではこれまでファゴ座の明らかな事例は見つかっておらず、現段階では総てIA2・IB2類に属する。炉の構築方向による時期差は、排滓の効率面から「斜面に対して平行：横置き」→「斜面に対して直交：縦置き」に推移したと想定されていたが、石太郎I遺跡1～3号製鉄炉の事例では同一箇所で直交から平行への造り替えが見られ、平行=古段階という認識を覆した。

今回試みた炉の分類（表9）では北陸の長方形箱形炉の特徴である「充実した地下構造」部分に着目し、掘り方面積・長軸短軸比率によってI・II・IIIの3つの時期に分けた。I期は県内の製鉄開始段階にあたり8世紀前半に属する。II期は長方形箱形炉の盛行期にあたり8世紀後半～9世紀第1四半期に属する。III期は長方形箱形炉から半地下式豊形炉への移行期にあたり9世紀第2四半期に属する。

帰属年代は当該炉及び関連遺構からの伴出遺物・操業時期を同じくする炭窯の編年区分によった。

I期 帰属年代は8世紀前半。長軸・短軸比率は3：1～2：1。構築方向は斜面に平行・直交の両方がある。完掘事例は少ないが石太郎G遺跡1号製鉄炉が該当する。

II期 帰属年代は8世紀後半～9世紀第1四半期。長軸・短軸比率は3：1を主とするが、時代が下がると4：1とやや長軸が長いものも見られる。短軸（炉幅）は1～2mと広がり、平面形で5m²を超える大きな地下構造となる。構築方向は斜面に平行・直交の両方がある。15基が該当し、長軸下方に排滓用ピットや周囲にコ字排水溝等施設が付帯するものもある。池多南遺跡2号炉、小杉丸山遺跡2期調査2号製鉄炉等が該当する。

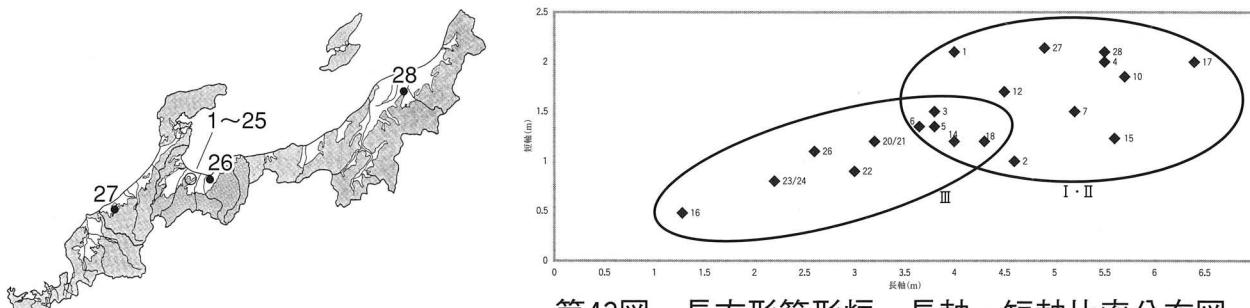
III期 帰属年代は9世紀第2四半期。長軸・短軸比率は3：1を主とし、4：1～5：1など細長いものも見られるが全体的に小規模化する。椎土遺跡A地区1・2号炉、塚越A遺跡2号炉などが該当する。

今回の分類では斜面平行構築の炉の帰属年代はほぼ8世紀に限定される。炉本体である上部構造については炉壁・炉床が良好に残存するものが県内では6例のみで、更なる調査例の蓄積が必要であるため今回は検討対象としなかった。

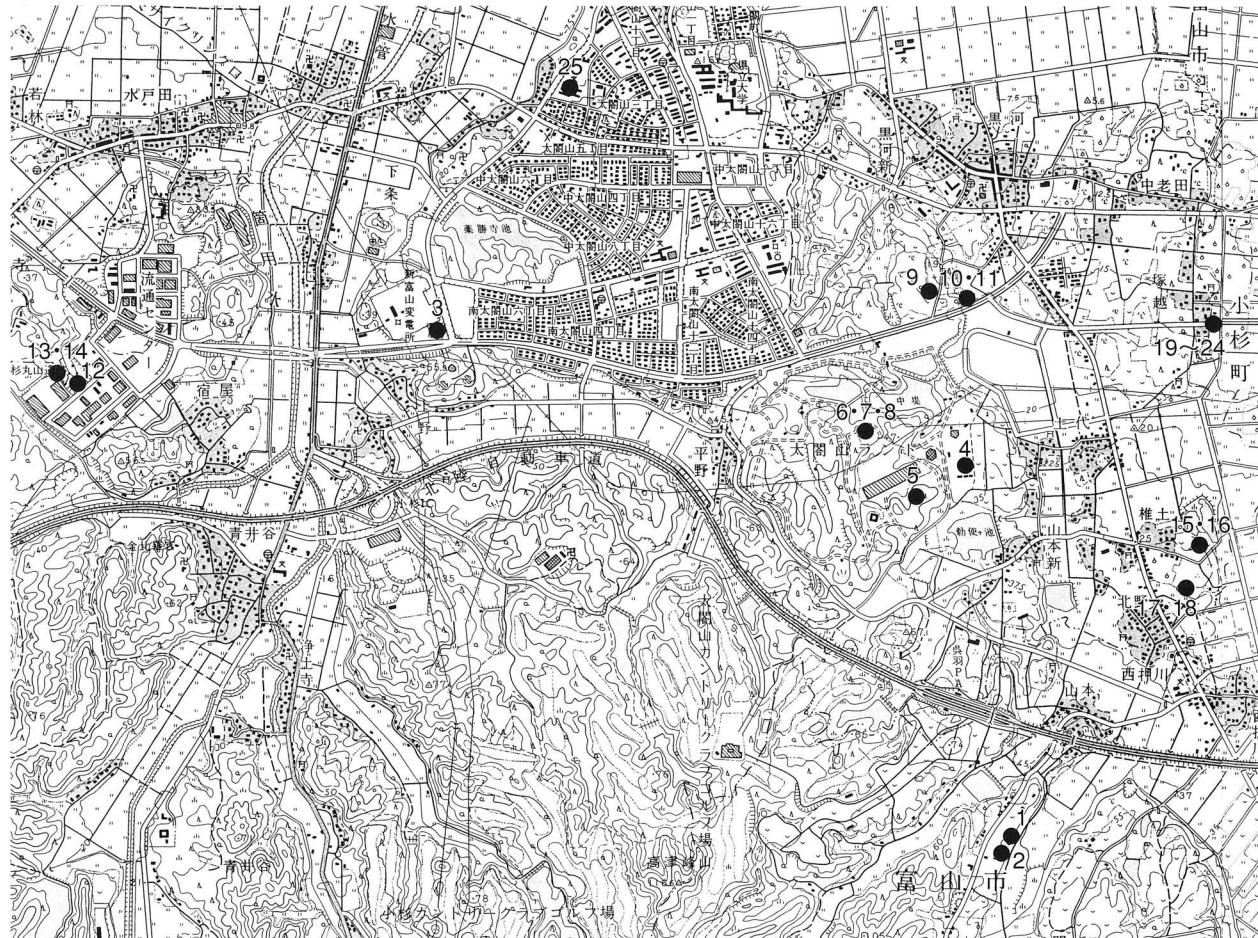
（近藤）

表9 富山県内長方形箱形炉編年

区分	分類	No.	遺跡名	遺構番号
前半	I	5	石太郎G	1号製鉄炉
		9	東山I	製鉄炉
		25	西山東	製鉄炉
		27	林A地区	1号製鉄炉
8世紀	後半	3	南太閤山II	1号炉
		4	石太郎C	製鉄炉
		8	石太郎I	3号炉
		10	東山II	11号製鉄炉
		11	東山II	12号製鉄炉
		1	池多南	1号炉
		7	石太郎I	2号炉
		17	椎土D地区	1号炉
		2	池多南	2号炉
		6	石太郎I	1号炉
		26	安田	製鉄炉
		28	居村E地点	1号精錬炉
9世紀	前半	13	小杉丸山	2期第1号製鉄炉
		14	小杉丸山	2期第2号製鉄炉
		12	小杉丸山	1期第3号製鉄炉
		18	椎土D地区	2号炉
		22	塚越A	製鉄炉04
		23	塚越A	製鉄炉05
		24	塚越A	製鉄炉06
		15	椎土A地区	1号炉
		16	椎土A地区	2号炉
		19	塚越A	製鉄炉01
	III	20	塚越A	製鉄炉02
		21	塚越A	製鉄炉03



第43図 長方形箱形炉 長軸・短軸比率分布図

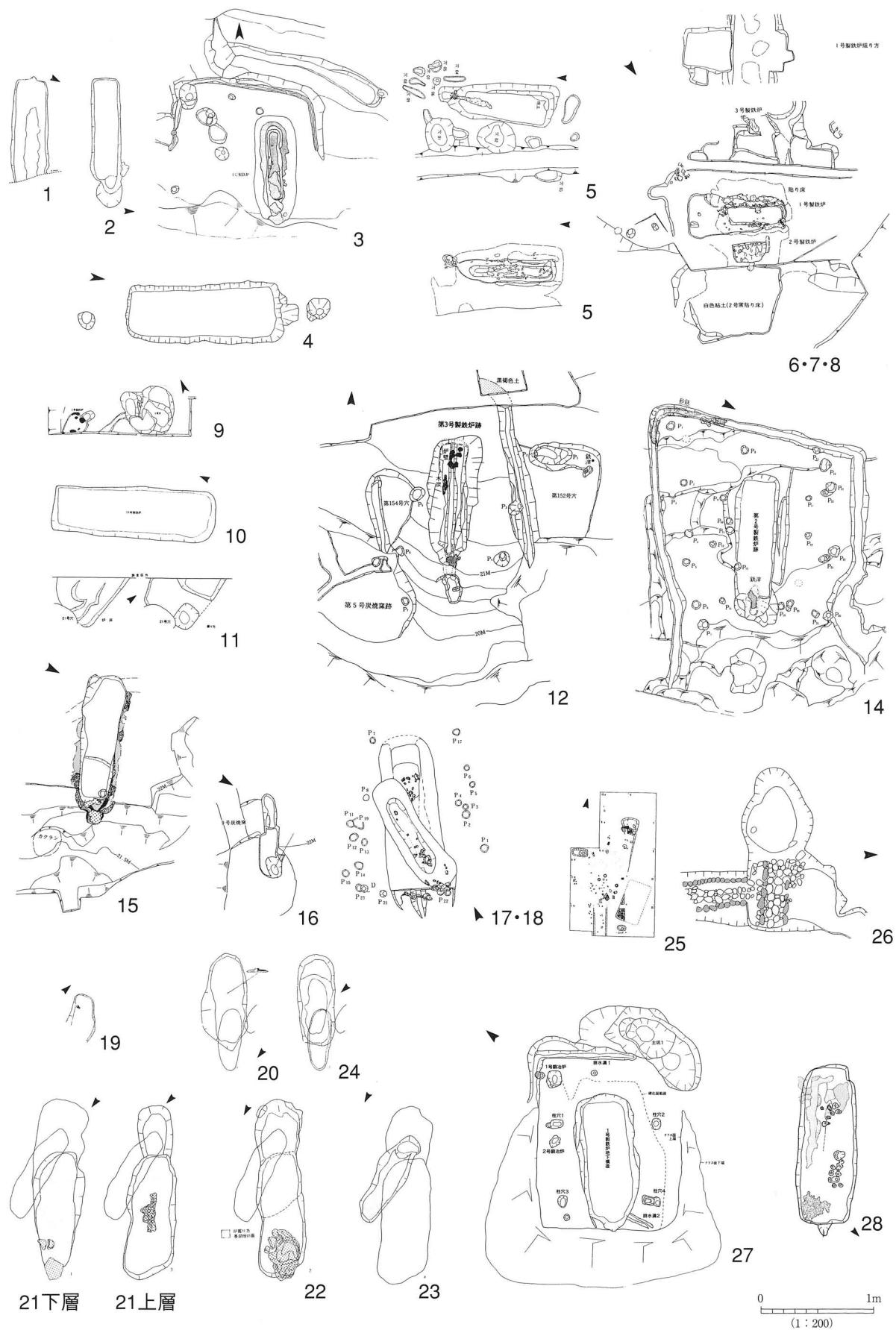


第42図 富山県内長方形箱形炉位置図 (1:40,000)

表10 富山県内長方形箱形炉一覧

*27-28は参考として県外資料を掲載

No.	遺構名	遺構番号	型式	帰属年代	炉床規模		掘方規模		伴う炭窯		時期	付属施設	文献	備考
					長軸(現存長) [m]	短軸(現存長) [m]	長軸(現存長) [m]	更幅(現存長) [m]	更幅(現存長) [m]	番号				
1	池多南	1号炉	1-d	8世紀後半	—	—	[4.00]	2.10	直交	1号窯	8世紀後半	II	SK01	本書 擾乱受ける
2	池多南	2号炉	1-d	8世紀後半	3.40~3.70	0.60	4.60	1.00	直交	5号窯	IB類	II	—	本書 排溝部ビットが付く
3	南太閤山 II	1号炉	1-d	8世紀前~9世紀前半期	2.46	0.34	3.80	1.50	直交	1~2号窯	IA-1a/IB-1a	II	周溝・穴	富山県1983a 考古地磁気AD620
4	石太郎C	製鉄炉	1-d	8世紀代	—	0.50	5.50	2.00	平行	—	—	II	長軸延長上にビット2	富山県1983b 考古地磁気AD980
5	石太郎G	1号製鉄炉	1-d	8世紀後半	1.40~1.60	0.70	3.80	1.25~1.45	平行	4号窯	—	I	穴	富山県1991 排溝部ビットが付く
6	石太郎I	1号炉	1-d	8世紀後半~終末	1.90	0.50	3.65	1.25~1.48	平行	—	—	II	—	—
7	石太郎	2号炉	1-d	8世紀後半~終末	—	—	5.20	1.40~1.90	直交	—	—	II	—	富山県1992a 3号炉→2号炉→1号炉
8	石太郎I	3号炉	1-d	8世紀中~第四半世紀	—	—	—	—	—	—	—	II	—	—
9	東山 I	製鉄炉	1-d	奈良時代	—	—	[1.70]	[1.50]	直交	—	—	I	—	富山県1983a 擾乱受ける
10	東山 II	11号製鉄炉	1-d	8世紀中~後半	—	—	5.70	1.85	平行	—	—	II	—	富山県1995 擾乱受ける
11	東山 II	12号製鉄炉	1-d	8世紀中~後半	—	0.50	[2.40]	2.10	平行	6号窯	—	II	—	富山県1995 擾乱受ける
12	小杉丸山	1期第3号製鉄炉	1-d	9世紀前半	—	—	4.50	1.70	直交	6号窯?	IB-2b	II	周溝・柱穴(上屋構造)	—
13	小杉丸山	2期第1号製鉄炉	1-d	奈良~平安	—	—	—	—	直交	—	—	II	—	富山県1986
14	小杉丸山	2期第2号製鉄炉	1-d	9世紀前半	3.15	0.45	4.00	1.20	直交	2号窯	IB-3a	II	周溝・柱穴(上屋構造)	上層と下層の接面あり
15	椎土 A地区	1号炉	1-d	9世紀前半~第四半世紀	—	0.35~0.40	5.60	1.23	直交	2~3~5~6号窯?	IB-3a	III	—	小杉町1988 1号炉より新
16	椎土 A地区	2号炉	1-d	9世紀前半~第四半世紀	—	0.17強	1.28	0.48	直交	1分13号窯?	IB-3a	III	排溝穴	—
17	椎土 D地区	1号炉	1-d	8世紀後半	—	—	6.40	2.00	直交	4号窯	—	II	—	小杉町1987 4窯
18	椎土 D地区	2号炉	1-d	9世紀前半	3.00	0.60	4.30	1.20	直交	5号窯	—	III	柱穴(上屋構造)	5窯
19	塙越 A	製鉄炉01	1-d	9世紀前半~第四半世紀	—	—	[1.50]	0.80	直交	—	IB-3a	III	—	—
20	塙越 A	製鉄炉02	1-d	9世紀前半~第四半世紀	—	—	3.20	1.20	直交	3~6号窯	IB-3a	III	—	—
21	塙越 A	製鉄炉03	1-d	9世紀前半~第四半世紀	—	—	3.20	1.20	直交	3~6号窯	IB-3a	III	—	富山県1992c 05→06→03下→ 04→03上→02
22	塙越 A	製鉄炉04	1-d	9世紀前半	—	—	3.00	0.90	直交	—	IB-3a	III	—	—
23	塙越 A	製鉄炉05	1-d	9世紀前半	—	—	2.20	0.80	直交	—	IB-3a	III	—	—
24	塙越 A	製鉄炉06	1-d	9世紀前半	—	—	2.20	0.80	直交	—	IB-3a	III	—	—
25	圓山東	製鉄炉	1-d	8世紀前半	—	—	1.47	0.85	直交	—	I	—	—	紙谷・藤田1981 擾乱受ける
26	安田	製鉄炉	1-d	8世紀代	—	—	2.60	1.10	直交	—	II	—	周溝?	滑川市1982 下部施設は川原石敷
27	林 A地区	1号製鉄炉	1-d	8世紀第四半期~中頃	2.00	1.00	4.90	2.14	直交	1窯	I	柱穴(上屋構造)・窓沿跡・周溝・土塙	小松市2003 精鍊炉と伴う作場	
28	居村 E地点	1号精鍊炉	1-d	奈良~平安	2.4~4.0	0.3	5.50	2.10	直交	2.34窯	II	排溝場	新津市1997 考古地磁気AD580~740	



第44図 長方形箱形炉集成 (表10と対応)